

2019年度前期 授業評価アンケート調査結果

学部 教養 通科目	科目	1年		2年		
		鍼灸学科	1年	日本国憲法	2年	チーム医療とコミュニケーション、健康管理学Ⅰ、身体運動科学
理学療法学科	1年	健康科学（スポーツ社会学を含む）、社会福祉学、スポーツ健康科学演習				
		2年	英会話			
看護学科	1年	健康科学（スポーツ社会学を含む）、生命倫理学、英語Ⅰ（初級）、情報処理				
		2年	英会話			
臨床検査学科	1年	東洋思想史、情報処理、スポーツ健康科学演習				
作業療法学科	1年	スポーツ健康科学演習、心理学				
臨床工学科	1年	物理学、英語Ⅰ（初級）				
鍼灸学科	1年	生理学Ⅰ（動物生理学）、東洋医学概論Ⅰ、経絡経穴Ⅰ				
	2年	東洋医学系検査法、病理学				
	3年	東洋医学系鍼灸実習Ⅱ、鍼灸安全学、現代医学系鍼灸学Ⅱ（内科系）、介護学概論、東洋医学系鍼灸応用実習				
	4年	関係法規・経営論、応用鍼灸治療学Ⅲ（小児・婦人科）				
理学療法学科	1年	人体の機能Ⅰ（動物性機能）				
	2年	精神医学、整形外科学、病理学				
	3年	生活環境論、リハビリテーション医学、医療関係法規論				
看護学科	1年	形態機能学Ⅱ、生活援助論Ⅰ				
	2年	臨床病態学Ⅰ、成人看護学概論、在宅看護概論、老年看護学概論、養護概説、公衆衛生看護学概論				
	3年	成人看護援助論Ⅲ、母性看護援助論Ⅱ				
臨床検査学科	1年	公衆衛生学				
	2年	医用工学概論、小児医学、血液検査学Ⅰ				
	3年	寄生虫検査学				
作業療法学科	2年	臨床運動学、内科学Ⅰ、高次脳機能障害作業療法評価学、脳神経外科学				
	3年	精神障害作業療法治療学総論、地域作業療法学				
	4年	人体の構造Ⅰ、生化学、医学概論				
臨床工学科	1年	電子工学Ⅱ、医療統計学、情報処理工学				
	2年	電子工学Ⅱ、医療統計学、情報処理工学				
教職課程	鍼灸学科	1年	教職論			
		2年	特別活動論			
		3年	教育方法論			
看護学科	1年	教職論				
	2年	生徒指導論（養護教諭）、教育課程論				

■実施目的
本アンケートの実施目的は、学生に授業評価をしてもらうことで、本学の教育の質を維持・向上させることにあります。また、アンケートの質問内容からも分かるように、授業評価を通して学生自身の自己覚知を促し、授業・学習に対する意識向上を図ることも重要な目標の一つとしています。

- 質問項目**
- 授業の運営について**
問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
問2 授業内容はよくわかった。
問3 教員からのプレゼンテーション（教科書、板書、映像、教材、配布資料等）はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。
- 教員について**
問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。
- 自らの履修態度について**
問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。
問8 総合的にこの授業に満足している。
- 自習について**
問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

■回答方法
上記の項目に対して、学生には以下の選択肢の中から一つだけ選んでもらいました。
「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」

■データの主な傾向
ここで公表しているデータは個々の授業のものではなく、あくまで全対象科目の全回答を集計したものです。従って、全体の結果と各授業の実態が異なる場合があります。学校全体での傾向を把握するものをご理解ください。また、下表の数値は全体結果のうち肯定意見についての割合を表しています。（太字部分が集計対象）

①問1～8 「**そう思う**」「**そう思わない**」「**どちらかといえばそう思う**」
②問9 「1時間以下」「**2～3時間**」「**4時間以上**」
※臨床検査学科3年生は1科目のため集計が
※理学療法学科、看護画家、臨床検査学科、作業療法学科4年生は対象科目なし

	鍼灸学科				理学療法学科				看護学科				臨床検査学科				作業療法学科				臨床工学科	
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生
授業運営についての評価																						
問1	81	77	81	85	78	86	88	97	89	82	83	70	69	90	72	69	84	81	88	93	67	79
問2	80	58	75	76	66	75	81	90	78	74	66	58	40	80	75	81	49	48	72	59	80	81
問3	77	62	76	73	70	77	80	97	77	69	70	63	41	78	73	70	53	53	75	61	76	81
教員について																						
問4	83	80	82	82	76	83	87	72	80	75	76	72	65	86	76	82	69	77	88	84	80	79
問5	85	74	83	78	84	79	90	97	77	73	75	59	60	81	80	84	66	67	84	83	77	91
自らの履修態度について																						
問6	74	61	74	78	63	77	74	62	68	63	65	50	54	67	66	73	54	53	72	68	73	73
問7	64	56	70	78	63	75	76	30	60	52	62	52	60	54	61	66	52	53	66	63	60	69
問8	70	58	70	71	62	71	70	72	77	69	66	59	32	74	70	78	49	53	70	63	71	76
自習について																						
問9	22	38	29	29	11	21	18	7	10	24	53	28	22	19	22	35	35	37	53	63	37	35

(2018年度前期アンケート結果と比較)

分類	分類の具体的内容	
	興味深かった・役に立った点	改善してほしい点
授業の進め方・話し方	●教科書に載っていないことも詳しく授業で盛り込んでくれるところ。 ●教科書だけではわからない部分をデモンストレーションでくださったのでよくわかった。 ●板書や、プリントでわかりやすく授業して下さり、小テストで知識を確認できるので良い。 ●一緒に、みんなの様子を見ながらやってくれるのでわかりやすい。 ●難しい言葉使わずに噛み砕いて説明してくれるのでとてもわかりやすかったです。	●先生によって教科書優先、プリント優先が違ってやりにくい。統一してほしい。 ●教科書を読んでわからないところを質問することがありますが、初めて習う項目だったので、どこがわからないかまだわからなかった。 ●座学でも十分に面白い授業だが、もう少しグループワークや心理学に関するテストなどをして欲しい。 ●早口でなっているのがわからない
板書について	●板書が分かりやすい ●板書や説明が詳しく、わかりやすい。 ●図をよく書いてくれる ●黒板が見やすい。	●板書の色と矢印を使われすぎていて少し見辛い ●穴埋めを全て板書しないため、漢字が分からなかったり、正しい答えを聞き逃すことがあるので全て板書してほしい。 ●ポイントとなるところを口頭だけではなく、板書にも書いて欲しい。 ●カタカナなど、聞き間違いがある可能性もあるため黒板に書いて欲しいです。
授業時間数・スピード	●毎回長く練習時間がある ●授業中に5分の休憩をとることで、効率化が高まりました。	●スピード落として欲しい ●授業のスピードが早すぎるのと板書の量が多過ぎるので、理解をすることができません。 ●授業時間が少し余るので、全体のスピードを少し上げてほしい。 ●プロジェクターによる板書を書き留めたいときに、講義の進行が早く、書ききれずに諦めてしまうことがときどきありました。 ●人数が多いので仕方ないかもしれませんが、授業が延長しすぎないようにしてほしいです
副教材について	●映像で理解が深まった。 ●レポート作成がしやすいレジュメだった。 ●授業資料が印刷できるのありがたい。 ●レジュメに最初から絵が描いてあるのではなく、描かせてくれるので覚えしやすかった。 ●レジュメがカラーで分かりやすい。	●プリントに書いてあるところが教科書のどの部分を指しているのか、ページ数などを書いて欲しい。 ●小テストの問題の内容を探しても見つからないのでプリントか教科書を探せば分かるものにしてほしい。 ●小テストの解答がほしいです。レポートを返却するときに、点数だけでなく、何かしら書いてほしいです。 ●提出したプリントが帰ってきたときの先生からのコメントの字が読めない。
授業の環境について	●他の学科と交流する機会ができて良かった。 ●自ら考える機会を貰っていること。 ●ふさふさしい身だしなみやコミュニケーションを一方的に教わるのではなく、自分たちで考える機会があって、良かったと思う。 ●グループワークでの授業なので、周りの意見を踏まえて自分の意見をさらに深く追求していくことが出来る点が、とても良い。	●パソコンの動きが遅い。 ●モニターを見やすくしてほしい ●休講が何度も繰り返されて、バイトの兼ね合いで補講に行くことが難しい日が多々ある。あまりにも回数が多いので、先生の都合で休講にしたなら補講もこちらの都合を聞いてほしい。 ●注意が公平でない。全体に声を掛けられないのに、少し喋った数人に声を掛け、目立ってうるさい人にはあまり注意しない。
教科書について	●教科書通りに進んでいるのでわかりやすい。 ●教科書がわかりやすい。	●教科書をもっと活用してほしい ●教科書にそってページ数を提示して、詳しく説明してほしいです。 ●わかりやすい授業スライド、わかりやすい説明、わかりやすい教科書選びをしてほしいと言えませんが、本当にただ、自習の教科書を生徒に買わせて私腹を肥やしているようにしか思えないです。
講師について	●先生おもしろい！！ ●先生が優しいです。面白すぎて、腹筋が痛いです。 ●ギャグはたまに滑るがおもしろいので授業を聞きやすい。 ●質問した時も丁寧に答えてくださって、良かったです	●先生の授業のレベル差が激しい。 ●提出したプリントが帰ってきたときの先生からのコメントの字が読めない。
授業の理解度	●バイト先で海外の観光客に接客できるようになった。 ●重要なところを小テスト形式で覚えられる様にしてほしいところ。 ●レポートのアドバイスがあったので、それに従って書いて、少しずつ文の量を増やしていった。 ●自分の体験を話して聞いたところが想像できやすくて良かった。 ●聞いたことがあるけどあまりよく知らないということがたくさんあり、それについて理解を深めることができるのがいい。	●説明や資料は教科書の表記に揃えるか、理由があつて変えているなら説明してほしい。

2019 年度前期 リフレクション・ペーパーの内容について

2019 年度前期 公開授業・学生授業アンケートの集計結果を各担当教員に配布し、アンケート結果と授業についての質問を行いました。
(リフレクション・ペーパーとはアンケート集計に対する意見・感想の回答を指します。)

【 質 問 事 項 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点
2. 授業を行ってみて良かったと思う点
3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

各教員が提出したリフレクション・ペーパーをもとに授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取り組みを始めています。
すべてのリフレクション・ペーパーをご覧になりたい場合は、教務室までお越しください。

【 リフレクション・ペーパーより抜粋 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点

- 実技科目であるためできるだけ説明は短くし実技の時間を確保した点。
- 学生の能動的学習になるように、授業内容についての小テストを毎回実施し、小テストを受ける前に学習として短い時間ではあるが自習する時間を設けた。その際は適宜巡回し、分からなかったところなどの質問に対応する時間とした。
- 演習後の課題はひとりひとりできるだけいいいみで、コメントを入れて返却した。
- 講義は一方向的にならないよう、クリティカルシンキングに基づいて学生が考える・書く・発表するという時間をふんだんに作り、ある一定の意見や思考を導き出すというプロセスで展開した。
- 毎回の小テストを授業開始時に行うことで自宅での復習の習慣づけをした。
- 当科目内容と関係のある直近二年間の国家試験問題をまとめて配布した
- 配布する教材はスペースや白黒など様々な制約があるため、予習用、および復習用の pdf を moripa に upload し、学習意欲の高い学生の要望に応えられるよう配慮した。

2. 授業を行ってみて良かったと思う点

- 質問への対応策として、作業内容を動画化したことは、積極的に動画を閲覧してくれていたように感じている。
- 学生同士で意見交換や発表をすることで、発信することに責任を持ち、視野を広げることができた。
- 学生との人間関係、学生同士の人間関係が築けるように配慮したからかもしれませんが、欠席が少なかった。
- 前回の復習を問題形式にすることで、教科書の中から必要な箇所を学生自身が探す姿勢が見られたこと。授業の最初に復習時間があることで、授業内に教科書の必要部分にチェックし、使える教科書を作る学生が見られたこと。
- 昨年の授業アンケートおよび授業評価結果のアドバイスを参考に、学生さんの顔を見て話しをするように心がけました。その結果、興味をもって話しを聞いてくれているな、理解してもらうには補足説明が必要だな、ということが昨年よりも感じ取れるようになりました。その影響もあってか、学生さんから多くの質問をもらうことが出来ました。

3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点

- おとなしくしていながら授業は聴かずスマホをいじっている学生がいる。やり方が巧妙なので授業で話していると一人一人の行動を指摘して注意する時間がない。
- 授業で伝えなければいけない項目が多く、ついつい一方的に話してしまうことが多くなってしまった。
- 課題で学びが効果的に深まっているのですが、課題の量が多いので、再度バランスを見直します。
- アンケートの結果から、講義資料の背景色が濃い場合にメモを書き込む領域が狭い、あるいは書き込んでも読み取りが困難との指摘があった。
- 次回の予告をし、予習の材料を示して置く。
- 発言ごとにポイントを与えると学生の発言を促したが、発言が苦手な人たちに不公平感を与えたことは反省している。彼らこそがターゲットであったのだが、真意がしっかりと伝わらなかったとしたら私の説明不足です。

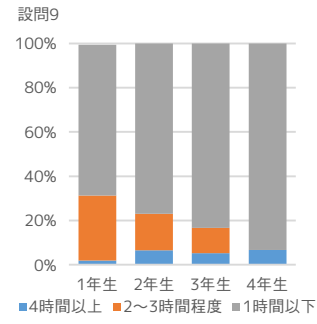
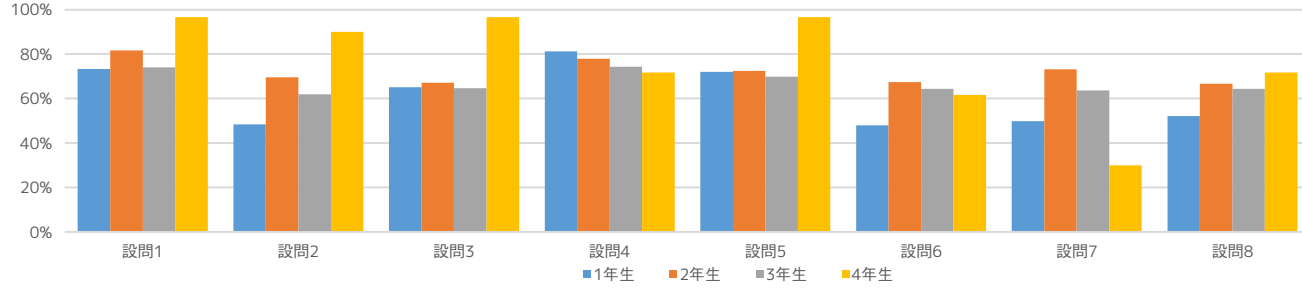
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

- アンケートで多かった「字がきたない」という指摘を真摯に受け止め、改善して行きたいです。
- 「ゆっくり話してほしい」とあるが、速いのではなく学生の理解が追い付かないのであろう。これは基本的な物質名や酵素反応などを十分に覚えていないこと、理解していないことが原因と考えられる。繰り返し説明することで理解を深めさせたい。
- 指摘のあった居眠りや遅刻する学生への対応は、日頃より自分でも悩んでいるところでもある。その都度対応すると、スムーズな講義の進行に障害がある。他の公開授業においても居眠り学生は結構見られるが、他の教員の方も見て見むふりをして講義を進めているように感じられる。
- 年々、学生との年齢差が大きくなり、我々が体感した経験値を表現するのも難しいが、学生の学識や一般常識的領域も意識し、さらに興味をもって受講できるように授業として行きたい。媚びを得るわけではないが現代の学生の気質も考慮した授業展開を心がけねばならないということであろう。そして学生一人一人が充実感を得られる授業を進めて行きたいと考えている。
- アンケートの回答数が極端に少なかったのが実に残念であった。サンプル数が少ないと、結果を百分率などの数値で分析、考察するには無理がある。よりよい授業への改善を図っていきたくないので、履修生の広くから忌憚のない思いを聞かせてほしい。

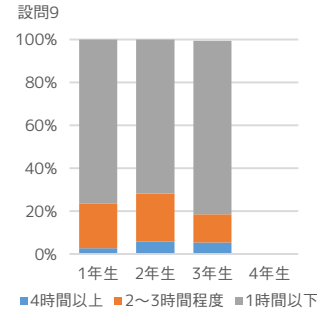
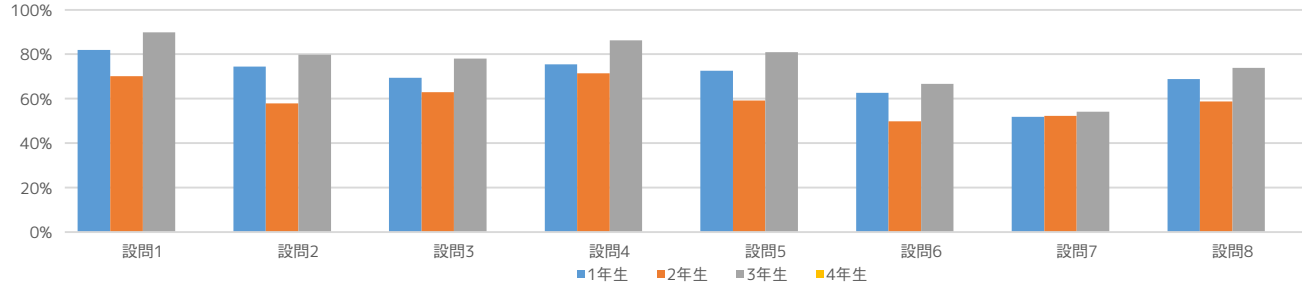
2019年度前期 授業アンケート調査結果 (肯定意見 学科別内訳)

- 問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
- 問2 授業内容はよくわかった。
- 問3 教員からのプレゼンテーション(教科書、板書、映像、教材、配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。
- 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
- 問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。
- 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
- 問7 この授業で遅刻、欠席、居残り雑談などをしていない。
- 問8 総合的にこの授業に満足している。
- 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

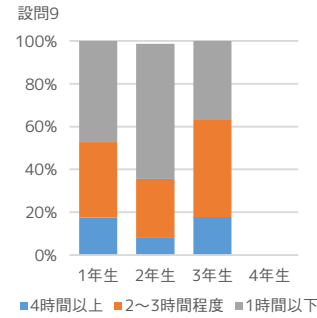
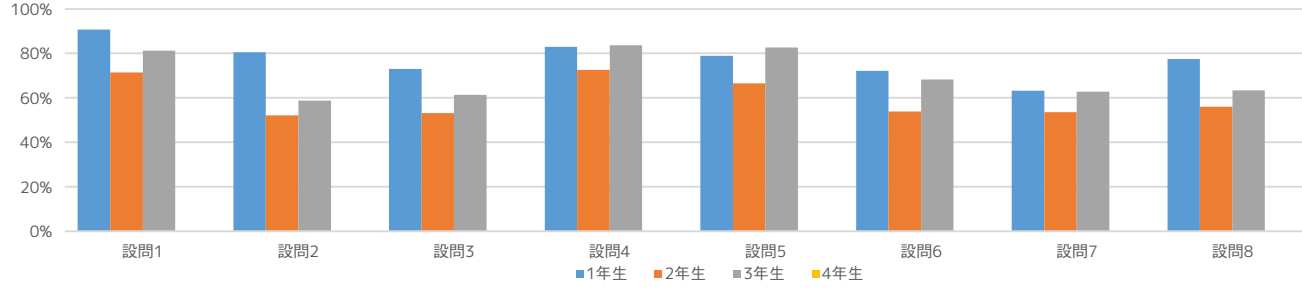
■鍼灸学科



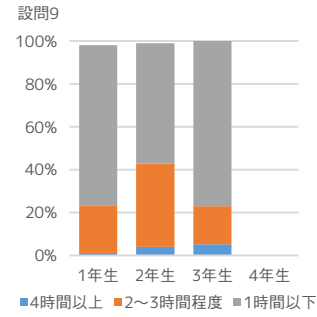
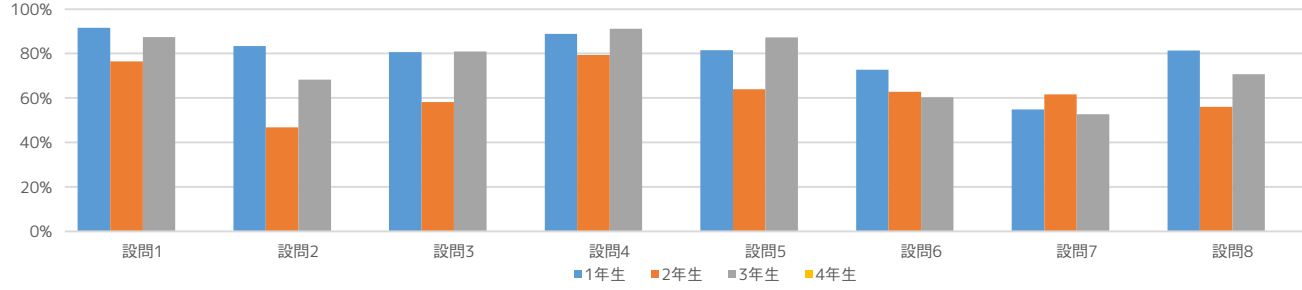
■理学療法学科



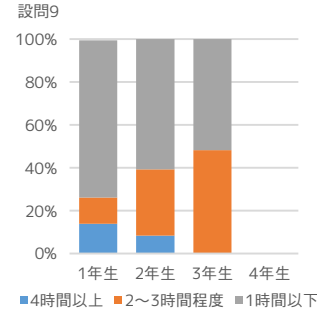
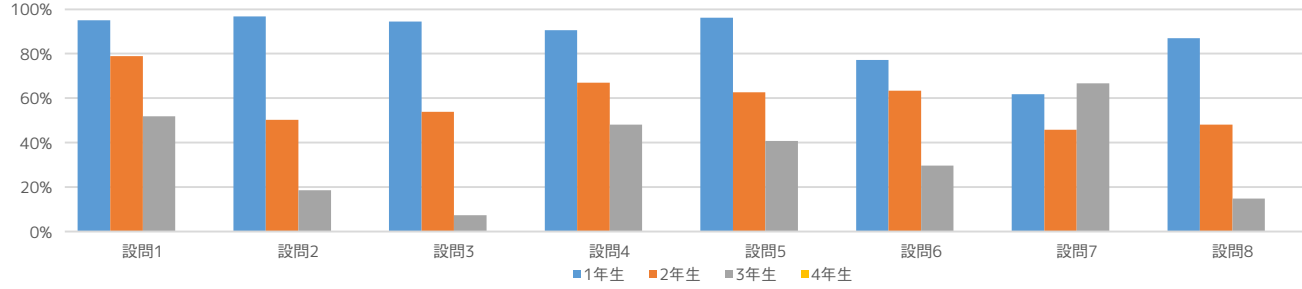
■看護学科



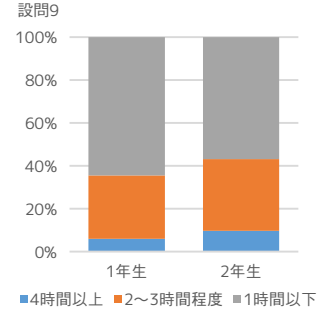
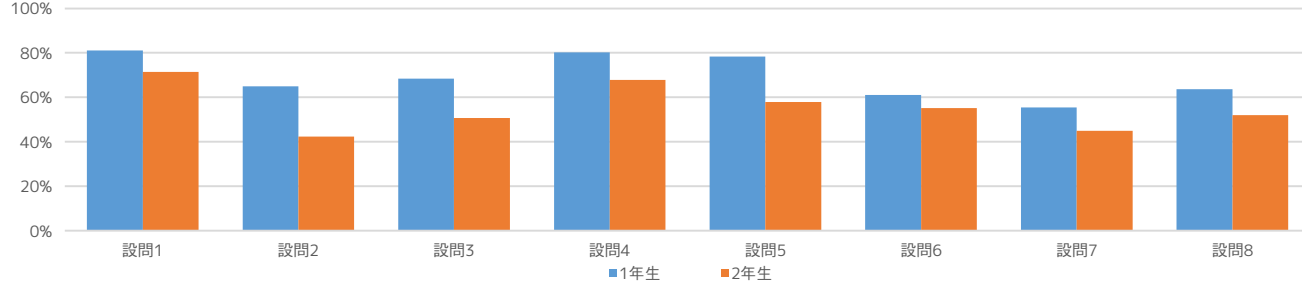
■作業療法学科



■臨床検査学科 ※3年生の対象科目は1科目のみのため、極端な結果になっています



■臨床工学科



2019年度後期 授業評価アンケート調査結果

■実施科目			
学部 共通 科目	鍼灸学科	1年	東洋医療概論
	理学療法学科	2年	健康管理学Ⅱ、栄養学、身体運動科学
	看護学科	2年	健康管理学Ⅱ、栄養学
	臨床検査学科	1年	生命倫理学
		2年	健康管理学Ⅱ、栄養学
	作業療法学科	1年	社会福祉学、英語Ⅱ(中級)
		2年	栄養学
臨床工学科	1年	西洋史概説、栄養学	
	2年	健康管理学Ⅱ、チーム医療とコミュニケーション	
専 門 基 礎 科 目	鍼灸学科	2年	鍼灸科学概論Ⅰ、現代医学系鍼灸学Ⅰ、東洋医学各論、コンディショニング技術論
		3年	臨床医学各論Ⅲ(各科)、リハビリテーション医学、現代医学系鍼灸学Ⅱ、応用鍼灸治療学Ⅴ、応用鍼灸治療学Ⅶ、学校保健
	理学療法学科	1年	基礎運動学、基礎日常生活活動学
		2年	小児科学、運動器系理学療法Ⅰ、神経系理学療法Ⅰ、義肢装具学
		3年	言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学
	看護学科	2年	小児看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅰ
	臨床検査学科	1年	人体の構造Ⅱ、微生物検査Ⅰ
		2年	漢方医学概論、臨床化学検査Ⅱ、免疫検査Ⅱ、輸血・移植検査学、画像検査学
	作業療法学科	1年	日常生活活動学
		2年	漢方医学概論、発達障害作業療法評価学
		3年	言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学、東洋医学概論、老年期障害作業療法治療学各論
	臨床工学科	1年	公衆衛生学
2年		生体物性工学、医用機器学概論、体外循環装置学、血液浄化装置学	
教職 課程	鍼灸学科	2年	教育心理学、道徳教育論、教育相談の基礎と方法
	看護学科	2年	保健体育科教育法Ⅳ
			教育心理学、道徳教育論、特別活動論、教育相談の基礎と方法

■実施目的
本アンケートの実施目的は、学生に授業評価をしてもらうことで、本学の教育の質を維持・向上させることにあります。
また、アンケートの質問内容からも分かるように、授業評価を通して学生自身の自己覚知を促し、授業・学習に対する意識向上を図ることも重要な目標の一つとしています。

- 質問項目**
□授業の運営について
問1 授業に興味深かった点、役に立った点
問2 よりよい授業にするために改善してほしい点
問3 毎回実施する授業内容について、教員からの説明があった。
問4 授業内容はよくわかった。
□教員について
問5 担当教員のプレゼンテーション(教科書・板書・映像・教材・配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。
問6 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
問7 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について、担当は適切に対応していた。
□自らの履修態度について
問8 熱意をもってこの授業に臨んだ。
問9 この授業で遅刻・欠席・居眠り・雑談などをしていない。
問10 総合的にこの授業に満足している。
□自習について
問11 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

■回答方法
上記の項目に対して、学生には以下の選択肢の中から一つだけ選んでもらいました。
「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」

■データの主な傾向
ここで公表しているデータは個々の授業のものではなく、あくまで全対象科目の全回答を集計したものです。従って、全体の結果と各授業の実態が異なる場合があります。
学校全体での傾向を把握するものをご理解ください。また、下表の数値は全体結果のうち肯定意見についての割合を表しています。(太字部分が集計対象)
①問1~8 「**そう思う**」「**そう思わない**」「**どちらかといえばそう思う**」
②問9 「1時間以下」 「**2~3時間**」 「**4時間以上**」
※鍼灸学科1年生、理学療法学科3年生は対象科目が1科目のため集計除外としています。
※看護学科1, 3, 4年生、鍼灸学科、理学療法学科、臨床検査学科、作業療法学科4年生は対象科目なし

	鍼灸学科				理学療法学科				看護学科				臨床検査学科				作業療法学科				臨床工学科	
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生
授業運営についての評価																						
問1	89 → 78 ↓	86 → 83 ↓	78 → 79 ↑	79 → 72 ↓	81 → 87 ↑	70 → 50 ↓	32 → 59 ↑	82 → 61 ↓	68 → 68 →	89 → 61 ↓	92 → 73 ↓	75 → 75 →										
問2	76 → 87 ↑	77 → 89 ↑	75 → 83 ↑	63 → 81 ↑	59 → 86 ↑	50 → 82 ↑	25 → 82 ↑	50 → 78 ↑	64 → 85 ↑	72 → 81 ↑	77 → 76 ↓	83 → 83 →										
教員について																						
問3	80 → 85 ↑	76 → 89 ↑	72 → 89 ↑	64 → 77 ↑	60 → 90 ↑	54 → 64 ↑	28 → 73 ↑	57 → 80 ↑	58 → 59 ↑	83 → 95 ↑	85 → 68 ↓	85 → 85 →										
問4	86 → 79 ↓	84 → 86 ↑	75 → 72 ↓	75 → 72 ↓	79 → 76 ↓	65 → 44 ↓	75 → 61 ↓	88 → 53 ↓	77 → 74 ↓	83 → 76 ↓	87 → 56 ↓	65 → 65 →										
問5	86 → 73 ↓	84 → 80 ↓	79 → 61 ↓	79 → 55 ↓	70 → 71 ↑	73 → 44 ↓	24 → 55 ↑	79 → 52 ↓	70 → 72 ↑	78 → 57 ↓	78 → 43 ↓	43 → 43 →										
自らの履修態度について																						
問6	77 → 78 ↑	78 → 80 ↑	68 → 79 ↑	53 → 70 ↑	40 → 81 ↑	51 → 49 ↓	24 → 61 ↑	45 → 53 ↑	55 → 70 ↑	83 → 74 ↓	74 → 67 ↓	71 → 71 →										
問7	69 → 73 ↑	71 → 80 ↑	66 → 61 ↓	48 → 55 ↑	48 → 71 ↑	56 → 44 ↓	50 → 55 ↑	41 → 52 ↑	51 → 72 ↑	89 → 57 ↓	61 → 60 ↓	43 → 43 →										
問8	73 → 78 ↑	74 → 80 ↑	73 → 79 ↑	64 → 70 ↑	52 → 81 ↑	52 → 49 ↓	15 → 61 ↑	71 → 53 ↓	57 → 70 ↑	72 → 74 ↑	84 → 67 ↓	71 → 71 →										
自習について																						
問9	30 → 29 ↓	21 → 28 ↑	36 → 61 ↑	20 → 24 ↑	15 → 18 ↑	31 → 17 ↓	24 → 23 ↓	26 → 32 ↑	13 → 22 ↑	89 → 20 ↓	20 → 21 ↑	39 → 39 →										

(2018年度後期アンケート結果と比較)

分類	分類の具体的内容	
	興味深かった・役に立った点	改善してほしい点
授業の進め方・話し方	●国家試験の頻出度の高いものを優先的に教えてもらった ●とてもわかりやすい言葉で、伝え方で、みんながついてくるまでしてくれるから頑張れる ●動画を見ながらの説明などがあるためわかりやすい ●1つ1つ丁寧に説明があり分かりやすい。ちょっとした雑談が知識になる。	●説明をもう少しわかりやすくしてほしい ●どのスライドを進めているのかわからない。しつかりページ数を言って欲しい。 ●一人ずつ前に出て答え書きに行く形式が効率悪いと思います。解説して下さる間も答え探すのに必死でちゃんと聞けないです。 ●毎回同じことを聞いているので、何が違うのだろうと思ったことがある。その点も含めてもう少し分かりやすく具体的に進めて欲しいと思います。 ●ずっと床に座っていたら集中も切れるし聞く気がなくなる
板書について	●板書の式や図がわかりやすい点です。 ●わかりやすく板書にまとめていただくので、ノートを見直せば要点を効率よく学習できています。	●白板の使い方が汚い ●白板に書いたものをすぐに消さないで欲しい。書いてる最中に消されるため、ノートがとれない。
授業時間数・スピード	●合間に休憩があって集中できた。友達と小テストの丸つけをするので、ちゃんとテスト勉強ができた。 ●練習問題があって、勉強しやすい ●パワーポイントで説明をした後、教科書で線を引くなどで復習する時間あって良い	●少し板書のペースが早いと感じるので遅くしてほしい ●内容が難しいので、もう少し詳しくゆっくり説明してほしいです。
副教材について	●レジュメを穴ぬきしてくれているので、テスト勉強しやすいです。 ●自分でプリントを作るというのが今までやったことなくて面白かった。●丁寧な解説書を配布していただき、ありがたいです。	●教科書に載っていない図などプリントに全て載せて欲しい ●配布プリントと教科書内容を同じにして欲しい
授業の環境について	●クラスの人とコミュニケーションを取ったりして、より理解が深まった ●人前につづき機会があり将来に役に立つ。	●パソコンとプリンターを看護棟にもっと増やして欲しい。 ●スライドの色で見にくいときがある
教科書について	●進んだ分をその日のうちに教科書に線を引くから覚えやすい	●教科書の情報量が少ない ●教科書に沿って欲しい。 ●いちいち教科書に対する文句を言わないでほしい。不快。
講師について	●先生の実体験を混じえているので、わかりやすいです。 ●実際の医療現場はこうなんだ！という熱意は伝わる ●仏様のように穏やかな先生で、臨床でのご経験をたくさん教えてください。 ●いつも元気な先生で、やる気を起こさせてもらえました。 ●合間合間のコラムが面白い	●先生がいついばいならいろんな意見が聞きたい ●教員の主観による視点で授業が進められているように思う。 ●質問されて、答えた時に間違っていたりしたら、責められたような言い方で話される。 ●嫌味が多いです。
授業の理解度	●実際に施設実習に行って、オリエンテーションを行なったことが貴重な経験になった。 ●アルバイト先でカルテに記録をするときに正しい表記ができるようになった。 ●1年にならったことを再び復習して、理解力を高められていること ●倫理的なことを学び、患者、チームのことは今後必要不可欠な役割に立っている	●何が原因か具体的に説明できないが先生の講義の内容が理解しにくい ●初めて習うことなのに、細かいとこまで説明されすぎて、どこが大事なかが分かりにくい

2019 年度後期 リフレクション・ペーパーの内容について

2019 年度後期 公開授業・学生授業アンケートの集計結果を各担当教員に配布し、アンケート結果と授業についての質問を行いました。
(リフレクション・ペーパーとはアンケート集計に対する意見・感想の回答を指します。)

【 質 問 事 項 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点
2. 授業を行ってみて上手くいったと思う点
3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

各教員が提出したリフレクション・ペーパーをもとに授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取り組みを始めています。
すべてのリフレクション・ペーパーをご覧になりたい場合は、教務室までお越しください。

【 リフレクション・ペーパーより抜粋 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点

- 「講義」だけでなく、レポート課題にて「自己学習」を先行して行わせ、その後、自己学習内容を発展させた内容で「演習」を実施した。またその理解度を把握するために、試験という形ではなく、「グループワーク」と「発表」という形で学生同士で共有させた。
- 例年は、座学を行ってから、実技を行ったが、今年度は実技を先行することで、学生の興味を引こうと考えた。症例検討を行いながら進めるため、事前に講義で使うシナリオを配布していた。
- 今年度は、昨年度の授業アンケートをふまえて、小児看護過程の事例紹介をペーパーでより具体的に示した。また同様に看護過程の記入例も作成し、説明も行った。
- 常に不明な点を質問できるようにグーグルアンケートを配布した。
- 多くの動画教材を作成して臨床のリアルを伝えるために工夫した。
- 学生が理解できていないところがないか、実技、課題実施中に教室内を回り、質問に答えたり声をかけて確認するようにした。
- できるだけ実物、あるいは実写ビデオを見ることができるようにした。義肢装具の実物に関しては、できるだけ触れるようにした。
- 「資料穴埋め」形式で授業を展開した。また、画像や動画をすべての疾患について提示し、少しでも「疾病」と「障害」のつながりについて理解してもらおうと工夫した。

医療事故とコミュニケーションの授業では、判例を調べ、実際に事故がどのように発生したかを、白板の前でドラマ仕立てに一人で実演した。また、コミュニケーションエラーで起こる事故では、人工呼吸器を教室へ持っていき、私が看護師役、学生に臨床工学技士役を演じてもらい、事故が起こるプロセスを実際に見てもらい、事故が起こる瞬間を体感してもらえよう工夫した。

2. 授業を行ってみて上手くいったと思う点

- ペア学習やグループワークは活発に行うことができ、学生の参加を促すことができたと考えている。
- レポート課題の提出率やその質が非常に良く、その後の「演習」でも積極的にメモをとる学生が多かった。
- 質問が毎回の授業で上がったので、授業の初めに一問一答を行った。
- 配布するテキストの内容を部分的に抜いて板書できるように切替えてから、寝る学生がかなり減ったので効果を実感できたと思います。
- 座学中心であったが、時には実技を入れた。実技時の学生の反応は良好であったと思う。

3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点

- 黒板に貼付する掲示物（A3の大きさ）が小さいため、後ろの学生は見にくい状態であった。（黒板への掲示物は事前に学生に配布したため、学生からクレームがくることはなかった）印刷費用が随分かかってしまうが、拡大印刷を用いるなど工夫をしたいと思う。
- 要点をまとめて説明したつもりであったが、学生間のレベルに大きな差があるため、もう少しレベルを落として、医療者として必要最低限にする予定である。
- 学生が調べてきたことに対して、教員からのコメントや解説をとる時間が少なくなった。今後は模範解答の提示や時間配分の工夫などで改善していきたい。
- 実技の際に、2名の教員で50名に対応することが難しいことが多いため、工夫が必要。
- 講義中における教員と学生との双方向のやりとりを取り入れたい。また、毎回、演習問題を作成したが、解説のための時間を確保することができず、解答を配布するのみとなってしまった。これらの点を改善したい。
- 後期の授業では、特定の学生の私語や迷惑行為がみられた。本授業だけではない（むしろマシなほうだと）ということが他の学生への聴き取りからわかったが、そういった学生への一定の制裁措置をあらかじめ提示しておくことが必要だと感じた（注意しても改善されない場合には、平常点から減点措置をおこなうなど）。

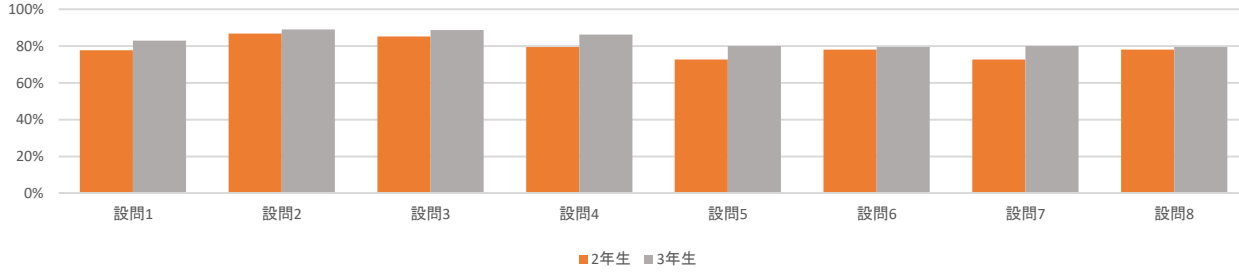
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

- いろいろな本の欠点など説明のしかたに不快感などあったようです。その他の不快になる言動等につきましては、気をつけます。
- 進行が早いと感じている学生がいる一方で、授業に費やした課外時間が1時間未満の学生がまだ半数以上いるので、必要なだけの取り組みをしてもらえようような講義展開、課題提示を行っていきたいと思います。
- 「講義」にて説明やスライドが速いという意見があったため、少し余裕のある講義を心掛けたいと思う。教科書の参照やメモを促す目的で、パワーポイントの資料を配布してはなかったが、次年度は配布を検討してみる。
- 抽象的な意見や授業評価でない内容のものが多すぎるため、何を反映してよいのか分からない。仕方ないとは思いますが、教員のモチベーションは確実に下がりました。
- また、学生には授業評価とは何をやるものかということと、匿名で記載するということの責任、読み手がどのように感じるのかという基本的なことを教える必要があると思いました。
- 「講義の進度が速い」ことに対して、話す内容を厳選する。「穴埋め」箇所を目立つようにする。小テストの問題数を減らし、解説時間を確保する。
- 実技の際の人数の調整など、学生からの意見を反映して工夫していきたい。
- プリントの自主作成課題に関しては、正常発達のつながりを理解するために実施しているが、学生はただ面倒なだけになっていることが分かった。正常発達の全体像を先に伝えた後に各段階を説明するなど、伝え方に整理を行っていききたい。

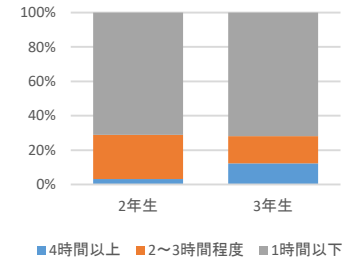
2019年度後期 授業アンケート調査結果 (肯定意見 学科別内訳)

- 問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
- 問2 授業内容はよくわかった。
- 問3 教員からのプレゼンテーション（教科書、板書、映像、教材、配布資料等）はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。
- 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
- 問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。
- 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
- 問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。
- 問8 総合的にこの授業に満足している。
- 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

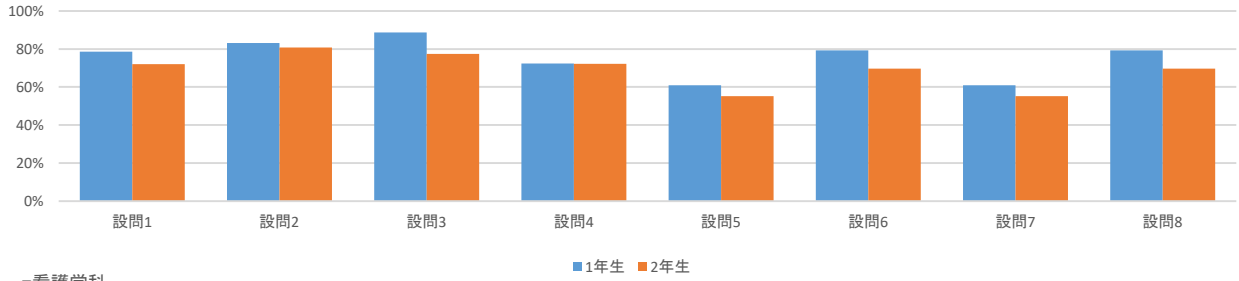
鍼灸学科



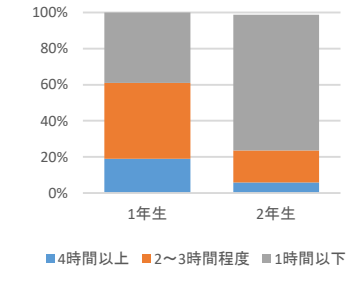
設問9



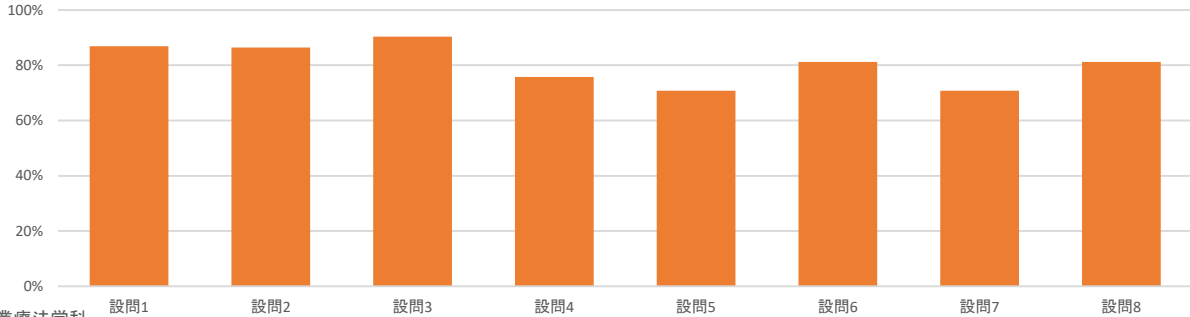
理学療法学科



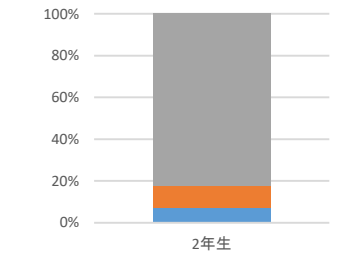
設問9



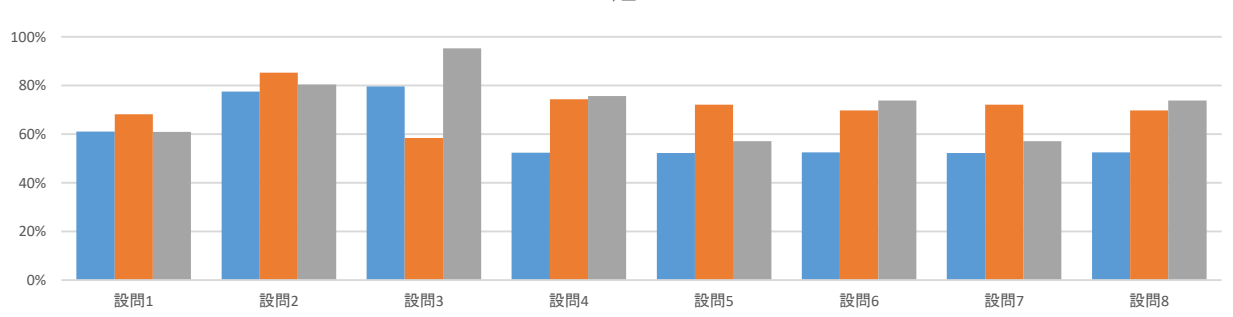
看護学科



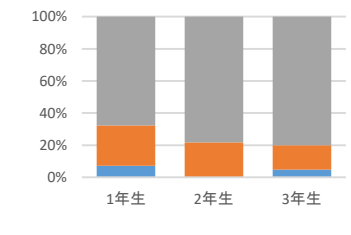
設問9



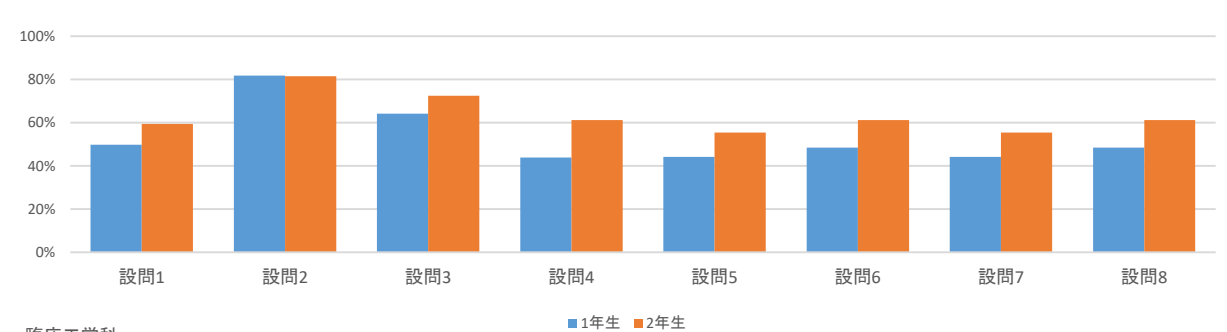
作業療法学科



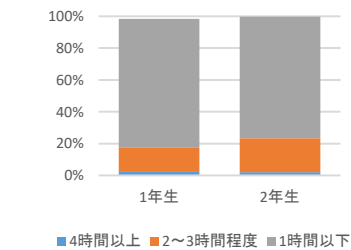
設問9



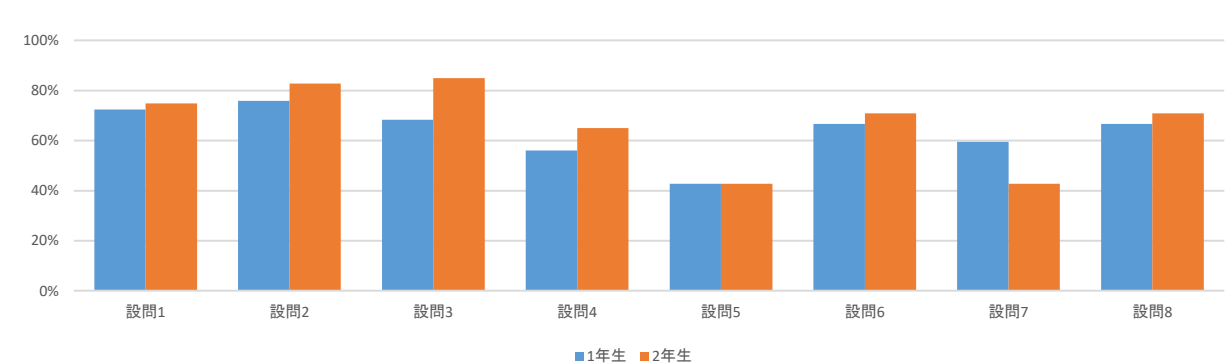
臨床検査学科



設問9



臨床工学科



設問9

